

おはよ

障教組 X 展開中



高教組 HP

役立つ情報がいっぱい



兵庫県障害児学校教職員組合（障教組）

神戸市中央区北長狭通5丁目2-10

兵庫県高等学校教職員組合会館内

TEL 078-341-6745

全職員版 NO.3 2025.8

「ワイワイしながら 学習会 教材つくろう

8月3日に「ワイワイしながら教材を作ろう」学習会を行いました。参加者は、大人13名、子ども7名で、とっても盛り上がり、学習意欲も高まり、楽しい時間を過ごせました。

第1部

音楽で使える教材づくり。講師は、いなみ野特別支援学校 飯塚由美子さん。絵本「きょだいな、きょだいな」で、長い文でも歌いながら行うと、よく見て、よく聞いてくれる実践を体験。歌がよかったですし、子どもたちの集中する様子が素晴らしかった。「遊園地たいそう」では、曲の変化に応じて自分が遊具になったり、隣の人とつながったり、仲間意識も芽生える、なんとすてきなこと!「まあるいたまご」では、歌と共に紙皿を回していく、たまごが青虫に、ひよこに、変化していく、思わずじっと見つめてしまう。データ化して頂いたイラストを紙皿に貼り付け、切って仕上げ。イラストを自分で描き、色を塗る方もおられました。



第2部

卓球バレー体験。開始前からやる気満々のお子さんも。ルール説明を聞いて、試合開始!園児から大人も球を追いかけて、声を出して、大盛り上がり!力が入りすぎてお尻を浮かしてしまって相手チームに点が、、チームでパスを回してショット決め、などいろいろな場面がありました。11点先取で、2ゲーム。とっても楽しかったです!!

第3部

国語（美術、家庭科とのコラボ）教材づくり。講師は、のじぎく特別支援学校 河元陽子さん。絵本やお話を題材にした手作り教材を高等部や中学部の生徒と作り、生徒にわかりやすく写真をたくさん使った台本作成、先生方とも協力して練習を行い、学年の生徒、小学部の児童、介護施設の方を相手に発表、その後のやりとり、生徒感想新聞を作成した授業紹介。題材となったのは「しろくまちゃんのホットケーキ」、「おおきなかぶ」「アリとキリギリス」「7人の小人」「ピッカリパックリ」「いなむらの火」。現在取り組んでいる「いろいろ温泉」の読み聞かせと今後の展開の話も。どれも素晴らしいアイディア、取り組み!特に人形や小物、パネルを生徒に作らそうと思ったのがすごい。組んだ先生方の特技を生かし、授業を組み立てられ、教師間の連携の大切も学べました。生徒にとって、こんな貴重な体験はない。達成感はすごかったです。作ったのは、フェルトで型をとり、針で縫った“ホットケーキ”とPペーパーで型をとって色を塗り、「やぎのトロル」のパネルです。



（裏に続く）

休憩＆おやつタイムでは、持ち寄りのお菓子いっぱい、とっても豪華！

たくさん食べて飲んでおしゃべりして、あっという間。みんな、仲良くなりました。

講師の先生方、参加してくださったみなさん、お子様方のおかげで、とっても楽しく、有意義な時間を過ごせ、元気をもらいました。2学期からも頑張れそうです♪



★★参加者からの声★★

○子ども連れて参加できてよかったです。こういう機会がこれからもあればいいな。

○実技指導に教材作り、話を聞くだけじゃないので、わからないところもすぐに教えてください、感謝しています。2歳のお子さんたちにヒットしていたので、小学部の子どもたちにも理解しやすい教材だらうなと思いました。飯塚先生の楽しそうに授業される姿、河元先生の教材作りの工夫、学年や学校を飛び出して子どもたちのやる気に火をつけるバイタリティ、尊敬しています。お二人の実践を通して、仕事に対する姿勢も教えていただいたように思います。

○卓球バレーというスポーツがあり、専用の道具が購入できることがわかったので、一緒に行った先生と学校で購入しようと盛り上りました。



障教組「超過勤務実態調査アンケート」

にご協力ください。

6月に成立した給特法は職場の分断を生む「新たな職」である主務教諭の導入や、特別支援学校・学級教員の職務の特殊性や専門性に対して支給されている「給料の調整額」削減など課題が多いものとなりました。また教員の時間外勤務を月平均30時間まで減らす、という目標が盛り込まれました。それに先立ち4月から兵庫県では「超過勤務時間が月80時間超の教職員をゼロにすることを最優先に、すべての教職員が月45時間以内となることを目標とする」ことの取組を始めています。しかし仕事量を具体的にどう減らすかは国も、県も現場に丸投げです。

障教組は、それぞれの現場での「しんどい」実態を把握し、組合では現場の声を集めて県教委に実態把握と長時間勤務解消の具体策を要求します。ぜひみなさんのお声を聞かせてください。

☆1学期(4~7月)を振り返って、次のような内容です。

質問例

- ①週平均の超過勤務時間は？
- ②土日および休日出勤の回数は？
- ③平日持ち帰り仕事は何時間分？
- ④それぞれの超過勤務の内容は？

授業準備、個別の指導計画作成、行事準備、生徒指導、保護者対応、校務担当の仕事など
下のQRコードを読み取りGoogle フォームにお答えください。(約5分程度です)

超過勤務実態調査アンケート ⇒



障教組より～ みなさんにお願いしたい『3つのこと』

- 1 組合費を払って障教組の活動を支えてほしい！
- 2 情報を受け取り、自分で考え判断する力をつけてほしい！
- 3 仲間とつながり、職場や仕事で「おかしい」と思ったら声を上げてほしい！



元気に楽しく働き続けるために、あなたとあなたの目の前の子どもを守るために、組合に入ろう！生きづらい時代をみんなでつながって歩んでいこう！

※ご加入の申し込みは、職場の組合員(『おはよ』を配っている人)や、高教組本部へ。